

事務事業名		バイオマス関連整備事業		所属部	農林振興部	所属課	林業畜産課	
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	林業グループ	課長名	高橋 司	
	施策名	〈37〉林業の振興		担当者名	加藤信也	電話番号	0854-40-1050 (内線) 2412	
	目的: 対象	市内の森林	意図	適正に森林を整備、保全し、森林資源を活用する。				
	基本事業名	〈113〉森林資源の活用		予算科目	会計	款	大事業	大事業名
目的: 対象	市内の森林	意図	木材資源を活用する。				中事業	中事業名
					013002		林業振興事業	
					101510		バイオマス関連整備事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (23年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
市内公共施設にチップボイラーを整備し、化石燃料(灯油等)利用から再生可能エネルギーである木質バイオマス由来燃料(チップ)利用に転換する。 チップの原料として市内森林の林地残材を利用することにより、エネルギーの地域内循環を進めるとともに、新たな林業需要の創出、森林整備や適正管理の推進を図る。	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動						
	30年度実績(30年度に行った主な活動) ・飯石ストックヤード整備にかかわる造成実施設計 ほか		元年度計画(元年度に計画する主な活動) ・飯石ストックヤード整備にかかわる用地取得、造成工事ほか				
	② 活動指標		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
ア	市民参加型収集運搬登録者	人		304	328	335	350
イ	市民参加型収集材積	t		1,172	1,180	1,099	1,200
ウ	木質チップボイラー数	箇所		4	6	6	6
エ							

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	雲南市内の森林		ア	雲南市森林面積	ha	43,541	43,543	43,543	43,543
			イ						
			ウ						
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	木材生産量が増加		ア	木材生産量	m ³	27,433	32,806	30,403	35,000
			イ						
			ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)		② コストの推移		単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
① 飯石ストックヤード造成実施設計業務委託 事業費: 20,400千円	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円					
		地方債	千円			19,300	147,000	
		その他	千円				7,800	
		一般財源	千円			3,437	1,100	31
	事業費計(A)	千円			3,437	20,400	154,831	
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3			
	延べ業務時間	時間	188	250	300			
	人件費計(B)	千円	746	1,019	1,300			
トータルコスト(A)+(B)		千円	746	4,456	21,700			

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
チップボイラー稼働施設増加にともなうチップ需要を考慮した原木の安定確保、伐期を迎えた市産木材の流通、利用促進のため、中間土場機能を備えたストックヤード整備が必要となった。	チップ需要増を踏まえた安定供給サイクルの確立に向けた条件整備(ストックヤード整備、チップ供給単価見直し等)を進めている。	未利用間伐材の利活用を通じて森林の整備がより適正に行われるようにするとともに、木材利用量が増加して林業振興を通じた地域経済の活性化を図ることが求められている。

事務事業名	バイオマス関連整備事業	所属部	農林振興部	所属課	林業畜産課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合	
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合		
③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合		
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由	エネルギーの地域内循環を拡大し、化石燃料から再生可能エネルギー利用への転換を進めるうえで効果の高い公共施設や機器を選定し、整備・導入を行っている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由	市においては、7つの公共施設にチップボイラーを導入し、木質バイオマス利用によるエネルギーの地域内循環を進めることとしている。再生可能エネルギーによる循環型社会の構築のために継続していく必要がある。	
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
<input type="checkbox"/> 他に手段がある	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	(具体的な手段や類似事業名)	
<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由			類似事業はない。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	施設規模等に応じた事業費を計上しており、これ以上の削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	適切で計画的な事業実施に努めているため削減は出来ない。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由	市内全域の森林を対象として実施しており公平である。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	7施設でのチップボイラー稼働を踏まえた計画的なチップ用原木ストックと市産木材流通拡大のため、吉田町川尻地内へのストックヤード整備のための実施設計を行った。	
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持低下	●	×			×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持低下	●	×																	
		×	×																	
<p>・市においては、7つの公共施設にチップボイラーを導入し、エネルギーの地産地消、再生可能エネルギーの利用拡大を図る方針。それ以降の導入については、7施設における運用を勘案したうえで検討することとしているが、当面はチップ安定供給にかかわる基盤整備等を行う必要がある。</p>																				